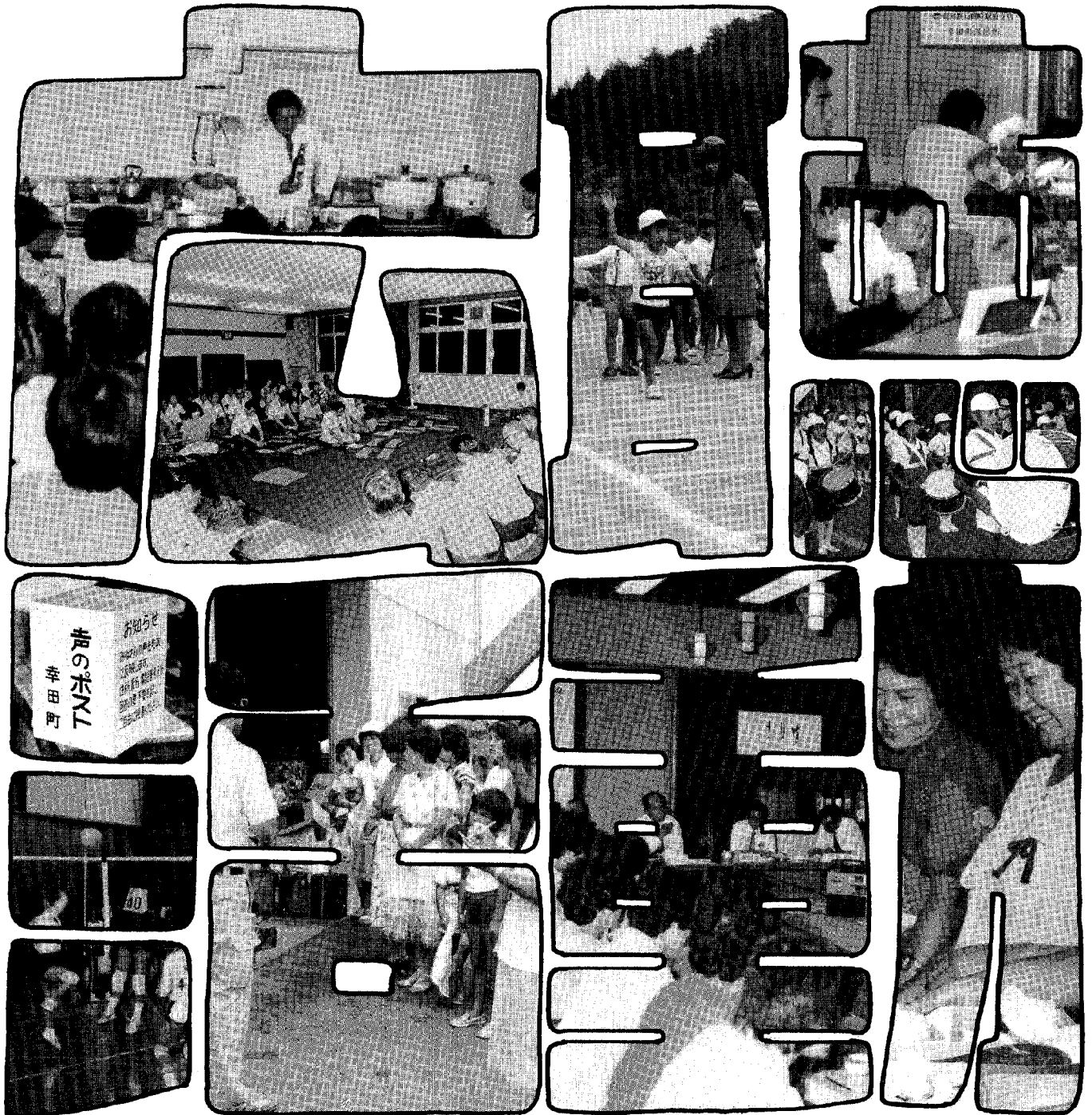


広報

こさた 80 11

特集号

発行・幸田町役場 愛知県額田郡幸田町大字菱池字黒方11番地
編集・企画課 ☎2-1111 (有)2458 印刷・ヨシノ印刷所



住民意識調査 P 2～7
住宅アンケート P 8～9
広聴活動この2年 P 10～11

意識調査

回答率79.4%

見つめる —— 前回と結果はほぼ同じ

この調査は昭和55年6月1日現在で住民基本台帳に登録された成人のうち、コンピュータで無作為に1,000名を対象として実施したもので、前年に引続き今回で2回目であります。調査の対象は町民成人、17分の1の抽出調査であり、民意の動向を把握するために、設問は前回とほぼ同じものとなりました。その結果、全ての設問で前回と差異のない回答が得られました。このことは前回と今回の調査結果の正確性、信頼度も高めたといえます。しかし、他方ではこの調査のもう一つの目的である民意の動向の裏づけがとれませんでした。民意の動きに敏感に対応するために、繰返し調査をする予定です。

ここに調査結果の概要をお知らせいたしますが、皆様の手に

はじめに

こころのかようふるさと づくりの基礎調査

よる「住み良い町づくり」のために今後ともご協力をお願いいたします。なお、本調査について関心のある方や、必要な方で詳しいことを知りたい方は、企画課まで。(☎二一—一一一)

特集号の見方

問の次に、問に対する回答数が掲載してあり、数字は百分率(%)で示してあります。次に若干の解説が付してあります。

基礎項目調査

多い町外からの転入者

女性は68%が転入

問1 あなたの住んでいる区は

(表省略)
 回答率は全体で79.4%と前回(77.8%)を上回りました。長嶺、久保田、幸田、須美で90%を超える高回答を得ました。

問2 あなたの性別は、

前回調査と同様、わずかではあります。女性が回答率が高くなっています。

問3 あなたの年齢区分は

20歳代	19.6
30歳代	27.2
40歳代	20.5
50歳代	15.2
60歳代	16.8

回答者の年代別の内訳です。回答率は20歳代が若干低くなっています。ほとんど差はありません。

問4 あなたの職業は

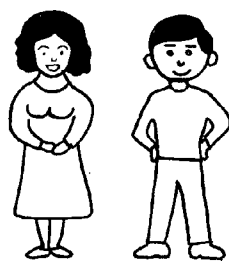
(表省略)

農業を含めていずれかの職業を持っている人は男性88.7%に対し、女性は50.4%と著しく少なくなっています。無職と答えた人が11.6%であり就業意欲の有無を今後の調査で明らかにしたいところです。

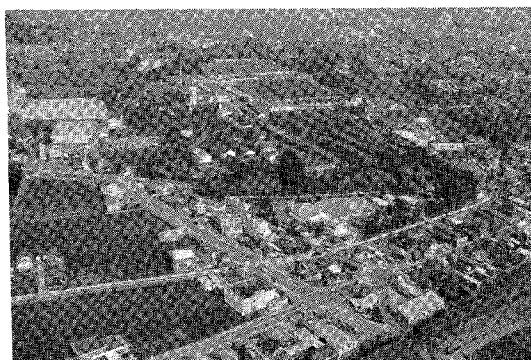
問5 あなたの生まれは

町内	42.6
県内の町外	36.5
県外	20.2

成人の方の半数以上が、町外からの転入者といえます。男女別にみると男子の54%が町内で生まれであるのに対して女子は32%と著しく少く、婚姻による転入が多いと思われます。



女50.3% 男48.2%



第2回 幸田町住民

794人の声 —— ふるさとこうたを

将来の幸田は田園都市に

下水道・道路・医療整備に強い関心

問6 役場の雰囲気はどのような感じか

(表省略)

前回と比べて、親切で明るいと答えた人(24・4%)が減って、不親切で暗いと答えた人(5・3%)が増えています。この変化が職員の応接態度の変化とは断定できませんが、親しまれる役場となるように職員の資質向上に努めてまいります。

問7 都市化は遅れているが住み心地は

住み心地は普通 61.2%



良い 28.0%

悪い 9.4%

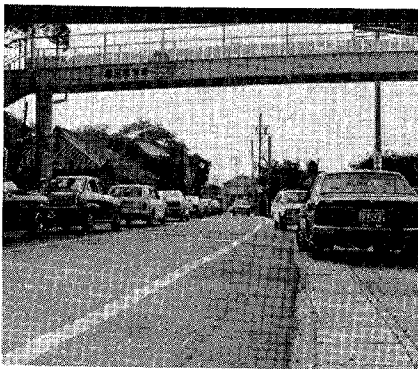
都市化は遅れていても住み心地が「良い」「普通」と感じている人がほとんどです。自家用車の普及などにより生活圏が拡大し、日常生活であまり不都合

を感じなくなってきた事も、都市化の遅れを是認する理由の一つといえます。

問8 あなたの回りでどんな公害を受けていますか

悪臭	臭	9・9
騒音	音	22・3
振動	動	6・4
汚水・排水	水	16・4
特に受けていない		53・4

騒音に関しては幸田・海谷・里・市場・芦谷の順に高くなっており、通過交通量の多い地区に集中しており、振動についても同じ傾向が見受けられます。



問9 あなたが望む幸田町の将来像は

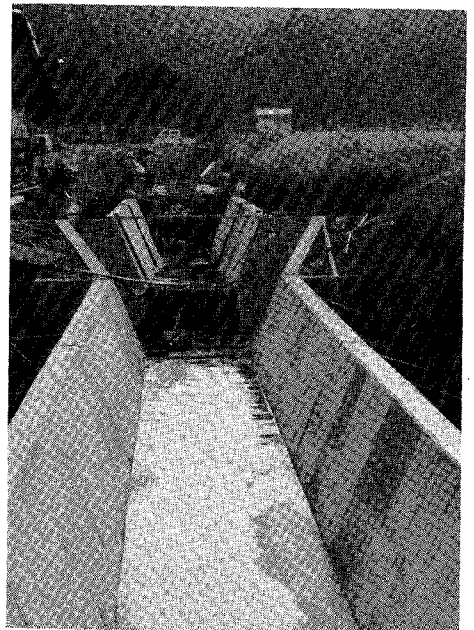
産業都市を中心とした田園都市	45・6
人口を増加した住宅都市	8・2
企業を誘出した産業都市	11・6
教育文化の進んだ文教都市	16・6
自然観光を充実した観光都市	14・1

田園都市を望む人が増えています。職業別にみると農業の人の67%までが田園都市を希望しているのに対して、技術系勤労者、主婦、無職の人においては30%台にとどまっています。

問10 町の行政で特に力を入れてほしいと思うことは

下水道関係	35・5
道路関係	34・3
医療関係	34・0
保健衛生	25・2
産業振興	17・8
税金関係	17・4
教育・文化	16・4
交通安全	15・9
都市整備	15・4
福祉関係	13・7

この他に、水道関係11・3%、河川関係10・6%、施設整備10・2%と続いています。生活に密着した項目から要望が強くなっています。



意見は組織を通して

声なき声も41%

問11 限られた財源での行政の推進方法は
(表省略)

「国や県の方針に従う」と答えた方が3・5%しかなく、逆に町としての主体性が問われる結果となりました。「下水道や道路など基礎的なことを優先」と答えた方も多く40・6%で最も多く問10の結果とも一致するといえます。

問12 身の回りで不都合なことがある場合どうしますか

直接役場にかける場合	11・2
議員・区長など有力者に頼む	30・8
区を通してかける場合	21・9
回りに呼びかけ運動を起す	2・8
よほどのこと以外は辛抱する	44・4

区、区長、議員などを介して役場にかける人が42・7%と多く、よほど重大な事以外は辛抱してしまっている人も多く、

声なき声の多いことを如実に物語っています。

問13 選挙について
(表省略)

89・5%がほとんど投票すると答えており、実際の投票率ともほぼ符合します。



問14 区画整理についてのお考えは
(表省略)

区画整理そのものについては市街化区域は全て行う、11・3%、開発されそうな地域は早めに行う、42・6%と積極的な人

が大半を占めています。しかし自分の土地が該当するとしたらみんなが同意すれば協力する、42・6%と消極的な意見が多くなる区画整理の難しさうかがえます。

問15 現在住宅に困っていますか

困っている 22・8%
困っていない 74・4%
困っていると答えた方の25・5%が狭いと答えており、持家が欲しい22・1%、いたみがひどい18・6%の順となっています。

福祉の充実

子どものしつけと老後の職場

問16 保育園の設置目的を知っていますか

知っている 78・1%
知らない 18・3%

問17 保育園に何歳から入れるのが良いと思いますか

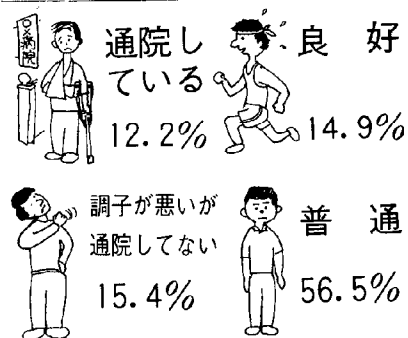
0〜2歳 2・9%
3歳 24・2%
4歳 46・4%
5歳 23・3%
実際には2年保育が最も多く5歳からの1年保育はほとんどいません。

問18 保育園について、特に力を入れてほしいことは
(表省略)

現状で良いとする人が18・3%であり、人間としてのしつけをやってほしいという人が45・6%で最も多く、保育時間の延長を望む人も11・2%となっています。しかし、子供の人格形成には母親の愛が必要であり、家庭において特性を生かしたしつけをすることも大切なことではないでしょうか。



問19 あなたの現在の健康状態は



病気が早期発見・早期治療が第一です。体に異常を感じたらお医者さんに診てもらい、健康な体を保ちましょう。

問20 あなたは老後に不安を感じますか

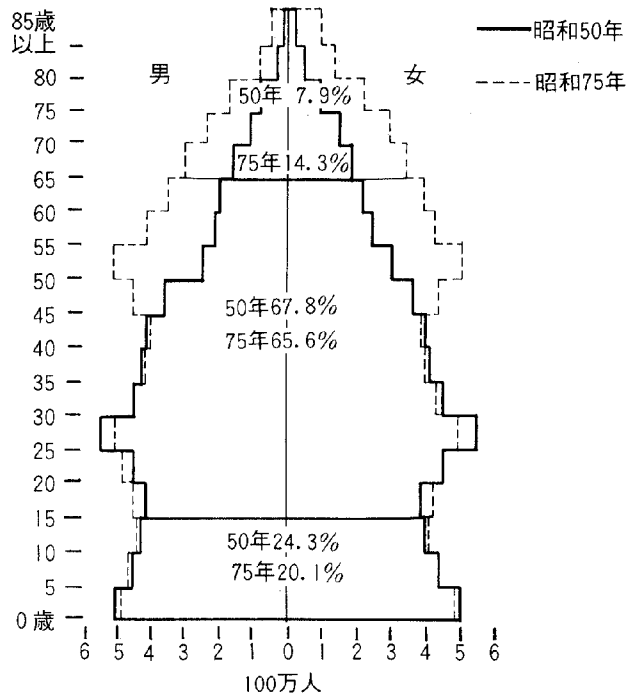
感じる	44・3
感じない	19・8
どちらとも	34・5

出生率が低下し、高齢化社会が進むにつれて、多くの人が老後に不安を感じています。年代別にみると、50歳代の50・4%が最も高く、40代が47・2%となっており、経済的なこと、健康上のことを理由にあげている人がほとんどです。反対に老後に不安を感じてい

[5]

ない人は60歳以上の人が最も多
く36・1%という結果が出まし
た。高齢化社会と、核家族化の
同時進行で頭の痛いところだ。

年齢別人口ピラミッド



町民総意の行政のために

広報・広聴活動の充実

問24 広聴活動としてどの方法
が最も良いか

- 住民参加集会 22・9
- 住民意識調査 40・2
- 町政モニター 13・5
- 町長への手紙 6・7
- 町長との面談 8・2

住民意識調査が最も多いのは
偶然にしろ、普段言えない事を
言える機会が得られた事に起因
するからでしょう。町の行った
広聴活動・実績順ともいえます。

問25 広報こうたを読みますか

- 毎号しっかりと読む 36・9
- 時々(所々)読む 53・8
- ほとんど読まない 7・4
- ほとんどの人に何らかの形で
読んでいただいています。読ま
ないと答えた人の内訳は、関心
がない45・8%、忙しい20・3
%となっています。

問26 議会だよりを読みますか

- 毎月しっかりと読む 21・4
 - 時々(所々)読む 57・9
 - ほとんど読まない 18・1
- 広報こうたよりも読んでいる

人が少なく、読まないと答えた人
の52・1%が関心がないと答え
ています。



問27 関心のある広報の記事は
どれですか
(表省略)

町の主な事業についての解説
が59・4%で最も多く、各種行
事等のお知らせ43・8%、施政
方針・将来構想30・7%、戸籍
移動20・5%の順となっています。
町の基本的な姿勢、身近か
な情報を広報から得ていること
がわかります。

問28 住民行動テーマを知って
いますか。

- 知っている 32・6
 - 知らない 55・4
- 住みよい町とするためにみな
さんに行動していただくテーマ
です。毎月広報でもお知らせし
ていますので自らのテーマとし
てほしいものです。

生活圏は岡崎・蒲郡

祝祭日も仕事の農家

問29 あなたの幸田町以外の
生活圏は

- 岡崎市 52・3
- 蒲郡市 29・8
- 西尾市 5・7
- 名古屋市 3・9
- 岡崎・蒲郡と答えた人がほと

問30 日曜、祝祭日の過ごし方と
してどれが最も多いですか
(表省略)

- 家で、男性に名古屋・刈谷・
安城・西尾と答えた人が多くな
っています。
- (裏ページへつづく)

問21 老人福祉対策に何を望み
ますか
(表省略)

- 働く場所の確保が最も多く42
・9%、それ以外の人も、行事
や活動の計画、参加23・4%、
老人クラブなどの団体への参加
15・6%と行動的です。

問22 あなたはスポーツをする
方ですか

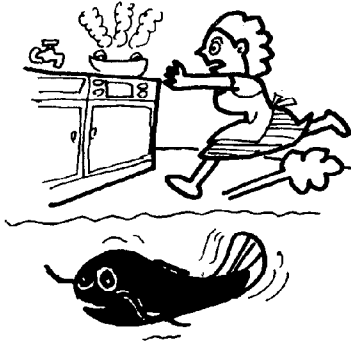
- よくする 11・7
 - たまにする 29・3
 - あまりしない 57・1
- スポーツは健康づくりに最適
です。

問23 スポーツに対して、町に
望むものはどれですか

項目	割合
場所や設備の整備や設置	52・3
運営費の補助	8・6
指導者の育成	8・7
全町の大会等の計画実施	9・2

です。手軽なスポーツにより、
丈夫な体を作りましょう。
男性に全町的な大会等を希望
する人が多く、女性に指導者の
育成を望む人が多くなっています。

ぐらっときたら
まず火の始末!!



家業に従事と答えた人が34・9%で最も多く、農業の人のほとんどが日曜日働いていると答えています。年代別に見ると20歳代の人に友人・家族と一緒に外出したりして過すと答える人が多く、年代が上るにつれて低下しています。

問31 地震対策について家族と話したことがありますか
ある 44・3
ない 50・5

東海沖地震が叫ばれ、地盤の隆起などの異常も報道されています。いざという時に備えて対策を家族で話し合うことも決してムダにはならないでしょう。

問32 近所の人や部落の人たちとのつきあいは

(表省略)

顔を合わせた時に話をするという答えた人が最も多くて66・4%です。男女別にみると、女性に親しいつきあいをする人が多いようです。男性は地域外で仕事に従事する時間が長いために近所の人たちと顔を合わせる機会が少ないために、コミュニティも疎遠になつてゐるのでしょう。

問33 お宅の生活用水はどれですか

全て上水道 45・0
台所は上水道 10・5
水道・井戸が半々 28・2
井戸水が半分以上 6・5
全て井戸水 7・7

全て上水道と答えた人が70%以上の区は、新田・永野・須美六栗・高力であり、全部井戸水と答えた人が10%を超える区は市場・里・芦谷・野場・六栗・三菱の各区です。

問34 日頃どんな火災原因に気を付けていますか

タバコ 42・9
コタツ・ストーブ 30・2
ろう電 4・3
ガスの元栓 71・0
子供の火あそび 13・9

ごみ焼きなど 18・9
男女別にみますと、男性にタバコ、ろう電と答えた人が多くコタツ・ストーブ、ガスの元栓ごみ焼きと答えた人に女性が多くなつています。家庭内で、それぞれの持場で気をつけていることがわかります。

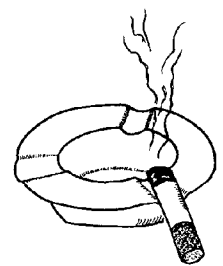
省エネルギー努めてます

まずは、身近から

問35 省エネルギーについてあなたのお考えは

自分も注意し人にも呼びかけている	21・7
意識しているが実行面は忘れがち	41・6
油や電気は必要なのでいるだけ使う	17・2
自分だけ節約しても意味がない	3・5
なくなればなくなたでどうにかなる	4・4

石油をはじめとする地球上の資源の涸渇が深刻な問題となつており、本町も「省エネ・省資



源推進の町」として宣言し、運動を進めています。地球の自然の営みの中から作られた貴重な資源を大切に使うために、日常生活の中からムダを排除し、省エネに努めましょう。



問36 家庭で常に注意して行っている省エネは

マイカー使用の自粛 8・1
電気・ガス・水の節約 36・3
物を長持ちさせ
あまり買替えない 3・0
その他 1・9

電気・ガス及び水の節約と答えた人が最も多く36・3%で、マイカー利用を制限している人も8・1%です。ほんのちよつとした注意で全体としては大きな省エネになることを忘れてはなりません。

貴重な意見

—アンケートによせる

生の声—

す。なお、58年以降出来るだけ早い時期に新位置での図書館建設を計画しています。

要望 一般の人が楽しめるプールが欲しい。運動施設の改善を計って欲しい。

答 現在の町営プールも一般開放していますが、一層充実を図るため、58年度を目標に新しいプールを検討しております。

また、スポーツ振興と並行し既設の整備充実と体育センター運動場を早い時期に設置できるように努力する考えです。

要望 耳鼻科を誘致してほしい。総合病院を設置してほしい。

答 歯科、整形外科、産婦人科、耳鼻科などの医療誘致については、関係医療機関にお願いしていますが現在のところ、進出希望はありません。今後も医療の誘致は進めてまいります。

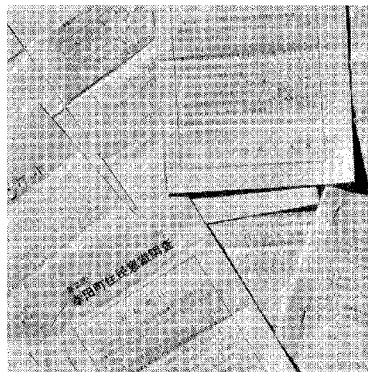
要望 総合病院については現在の人口では皆様に過重な負担をお願いすることになり隣接の岡崎、西尾、蒲郡に施設があることからかも時期尚早と考えております。

要望 し尿くみ取り料金が毎月違い、いつも残すし乱暴である。

答 くみ取り料金については今年5月従量制と定額制を導入したことにより、料金のばらつきはないと思います。もし、ご指摘のようなことがありましたらご連絡ください。業者に是正を指導します。

要望 選挙において、上からの指示により一般投票者の都合も考えずに選挙運動に使うことは考え直してほしい。

答 選挙人の行動等を強要することは絶対にあつてはならない行為です。選挙人の方々も強い意志で対応されたいと思います。



要望 最近の幸田町は税金が高いと言われるがどうか。

答 住民税の課税については、地方税法で、各種控除額、税率が定められており、本町においても税法に基づく標準税率で課税しており近隣の市町村に比べ本町のみ特に高いということはありません。

要望 保育所の入所許可が厳しく、内職等の仕事を持つていないと無理と聞きましたが、どうなのでしょう。

答 条例で定める入所基準に基づいて入所の可否を決定しています。定員に満たない場合に、例外として有資格者以外でも自由契約児として入所できることがあります。しかし、一般的には母親で乳幼児の世話が出来れば入所しなくてもよい事になります。なお、保育所に入所するための労働では困ります。保育所の設置目的をご理解ください。

要望 草刈りは町民の手を借りることなく町でやってほしい。

答 河川堤防の草刈りは治水環境面で重要と思われます。私たちは目に見えない数多くの恩恵を川から受けていますので、川を愛し、環境をよくするため草刈り等のご協力がいただきたいと思ひます。

要望 幸田駅裏の駐車場は整備されたが、車の台数が多いため混雑しすぎる。有料化もしくは駐車場の拡張を。

答 駐車場の利用状況を調査したところ、ほとんどが通勤者であり、町外からの通勤者が30%でした。また一部を月極有料とした場合に70%の人が希望していますので、一部有料化を検討しています。また、現在1500m²を拡張工事中で10月上旬には利用可能となります。

要望 町などが宅地分譲される場合は抽選にして欲しい。入札だと高くなり過ぎるので公正な立場でやってほしい。

答 ご要望の主旨についてはごもつとも思ひます。国・県からも抽選方法を取り入れるように指導を受けていますので今後は、区画整理の保留地処分などについてはご主旨にそつうように指導いたします。

要望 道路、町営施設整備の際には寄附金、地元負担はやめてほしい。

答 年々軽減に努力しており、主要施設については、地元負担なしで現在も行っていきます。

要望 地元との話し合いの場合には地元有力者だけでなく幅広く意見を聞いてほしい。

答 事業を実施するに当つては関係権利者一人一人のご意見をお聞きしています。話し合いが少ないと言われるならば今後十分話し合いはいたします。

要望 現在の文庫は狭くて蔵書も少なく、分類も不徹底だ。駐車場も狭くて不便である。

答 蔵書も毎年予算計上し、充実に努めており、今後も皆さんの意見を元に進めていく予定です。

また、図書目録も作成し、分類の整理、利用拡大に努めます。

住宅アンケート

— 借家住まいの方が対象 —

住宅施策の参考に

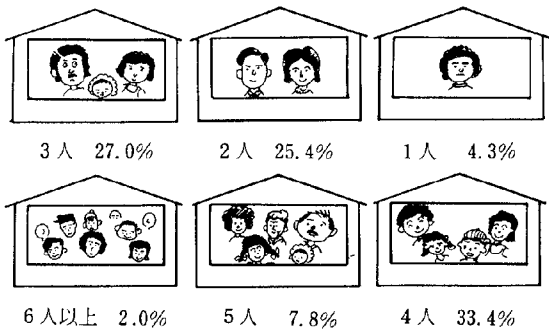
九九一戸の方へ(回答43・7%)

はじめに

人間が生活していくのに最も大切な施設が住宅です。そこで町内在住の借家住まいの人を対象に、住宅の現状を明らかにして問題点を掘り起し、今後の住宅施策の参考とするために行ったのがこの調査です。調査期間が7月12日から7月21日まで、対象者数が991人、回答者が437人、回答率が43・7%でありました。調査にあたっては、正確な結果を得るために経済的にも家庭の中心である世帯主を回答者として指定しました。回答率が低率であったために、不十分な結果ではありますが、ここにお知らせいたします。なお、結果の見方については、意識調査と同じです。

基礎項目

問1 あなたの住んでいる区は(表省略)
回答者のうち大草、高力、鷲田、芦谷、六栗で81・7%を占めています。



問3 世帯人員は何人ですか

問2 世帯主の年令は

ほとんどの人が60歳未満です。住宅の種類別では公営住宅に高齢者が多く、逆に社宅及び民営の住宅ではほとんどが40歳未満であります。

20歳代	28・1	30歳代	30・9	40歳代	19・2	50歳代	12・1	60歳以上	9・5
------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----

90%までが4人以下の世帯です。比較的に高齢者の世帯に單身もしくは2人世帯が多い結果が得られました。

問4 世帯全員の年間収入は

(下表)
年収200万円から400万円までの間に62%が集まっています。200万円未満と答えた人も25・2%みえました。

四室以下の借家住まい

六割が現状に不満

問5 住んでいる住宅について

お伺いします。

(イ)部屋数は何室ですか

キッチンを含めて2〜4室と答えた人が92%です。このことは、町内借家のほとんどが4室以下の構造だといえます。

1室	1・6	2室	21・1	3室	38・7	4室	32・0	5室以上	5・3
----	-----	----	------	----	------	----	------	------	-----

(ハ)家賃はいくらですか

100万円未満	9・2	100万円〜199万円	16・2	200万円〜299万円	34・3	300万円〜399万円	27・1	400万円以上	11・5
---------	-----	-------------	------	-------------	------	-------------	------	---------	------

(ロ)住宅の種類は

1戸建住宅	5・3	長屋建住宅	19・7	アパート・マンション	5・9	公営住宅	29・7	社宅	34・1	その他	3・4
-------	-----	-------	------	------------	-----	------	------	----	------	-----	-----

5,000円未満	10・3	5,000円〜10,000円	26・8	10,000円〜15,000円	31・4	15,000円〜20,000円	11・7	20,000円〜25,000円	7・1	25,000円〜30,000円	6・4	30,000円以上	1・6
----------	------	----------------	------	-----------------	------	-----------------	------	-----------------	-----	-----------------	-----	-----------	-----

[9]

57%までの人が月額15、000円以下の公営住宅もしくは社宅に住んでいることがわかりました。半面では月額35、000円を超える住宅も出てくるようです。

問6 あなたは現在の住宅に満足していますか

満足している 32・3
不満足である 67・0

問7 不満の理由は何ですか

部屋数が少ない	58・0
建物が老朽化している	15・7
家賃が高い	8・2
環境が悪い	5・8
交通が不便	2・7
その他	9・6

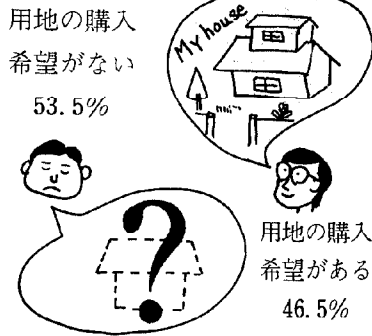
部屋数が少なくて頭を痛めている人が多いようです。また住宅を変えるとしたら戸建の住宅、あるいは公営住宅を望んでいる人が多く見受けられます。

問8 省略

半数が持家を希望

地価の高騰で買いびかえも

問9 住宅用地の購入希望についておたずねいたします
(イ) 購入希望がありますか



(ロ) 購入希望の無い人に理由は

地価が高い	51・4
転勤が多い	3・4
持家がある	6・5
土地は購入済	25・9

近年の地価の高騰により宅地の取得が困難となつてきているようです。仕事の都合で他市町村に持家があるが現在は借家住いをしていて、転勤が多いから一か所に定着できない人もみえるようです。

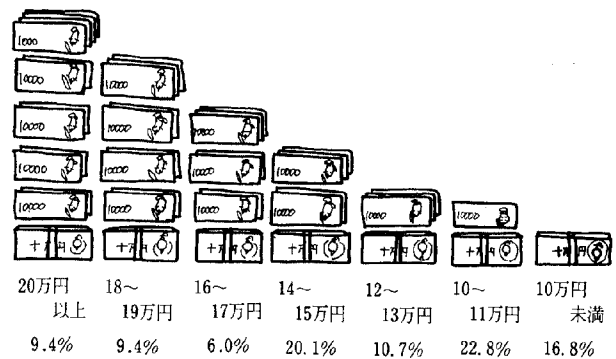
(イ) 購入を希望する人に場所はどこですか

町内 73・8
町外 20・8
購入希望のある人の73・8%の人が町内を希望しています。

(ニ) 購入を希望する面積は

40〜49坪 29・5
50〜59坪 32・9
60〜69坪 19・4
70〜79坪 10・1
80坪以上 6・6
ほとんどの人が40〜70坪に集中しています。

(ホ) 1坪当りの購入希望単価は



の家を持ちたいけれども、具体的な計画の決っていない様子がうかがわれます。

問10 住宅の建築計画についておたずねします。

住宅の建築予定時期については昭和60年以降という人が42・5%、未定と答えた人が5・9%で宅地の購入計画よりもずっと先になり、すぐに家を建てるという人は少ないようです。

また住宅は木造を希望する人が64・4%と多く、延床面積が30〜35坪で部屋数5〜6室の住宅と答えている人が最も多いことがわかりました。

現在の住宅が2〜4率がほとんどであるので、少なくとも5〜6室は必要だということでしょう。

資金についても借入金に頼る人が多く、自己資金と合せて1000万円前後と考えている人が多いようです。

問11 宅地の購入方法は、どの方法を望みますか

分譲宅地	26・8
土地付分譲住宅	32・9
自分で確保	32・3



広聴活動まとめ

この二年

本町の町政モニター制度も、昭和50年1月発足以来5年、声のポストも昭和53年12月設置以来2年目を迎え、広聴制度も整備されて来ました。

さて、「こうちよう」という言葉には「広聴」と「公聴」という2種類の漢字があります。後者は、重要なことを学識者、関係者から意見を聞くという意味が強く、一般には、広く意見を聴くという意味から「広聴」という漢字が使われています。

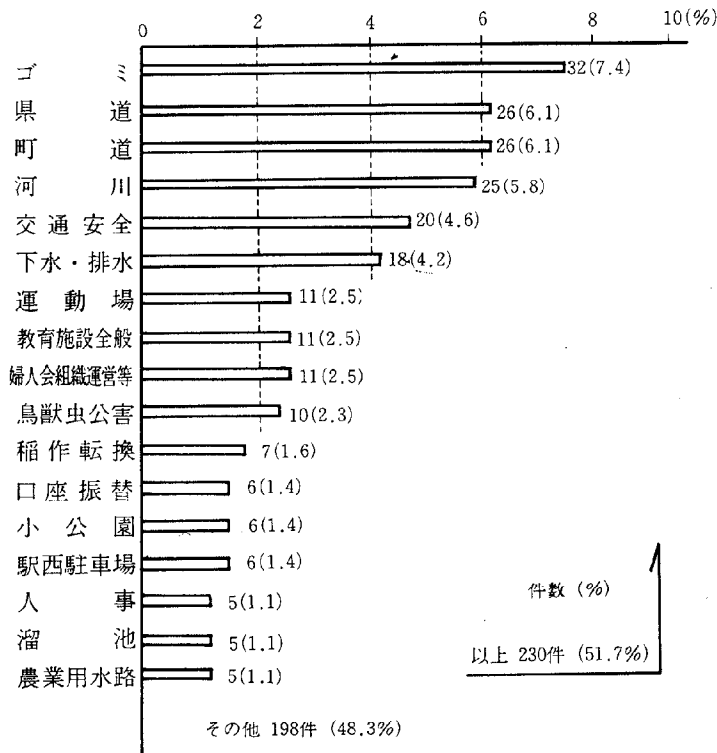
本町でも、そのような意味を重視し、住民の方々の意見を広く聴き、町政に反映させ、円滑な運営を図るために、町政モニターおよび、声のポストや、住民参加集会、各種団体などと懇談会を行っています。

今回、住民意識調査、住宅アンケートを実施し、結果がまとまったのを機会に、広聴活動の総括を住民の方にお知らせしたいとこの特集号を編集しました。

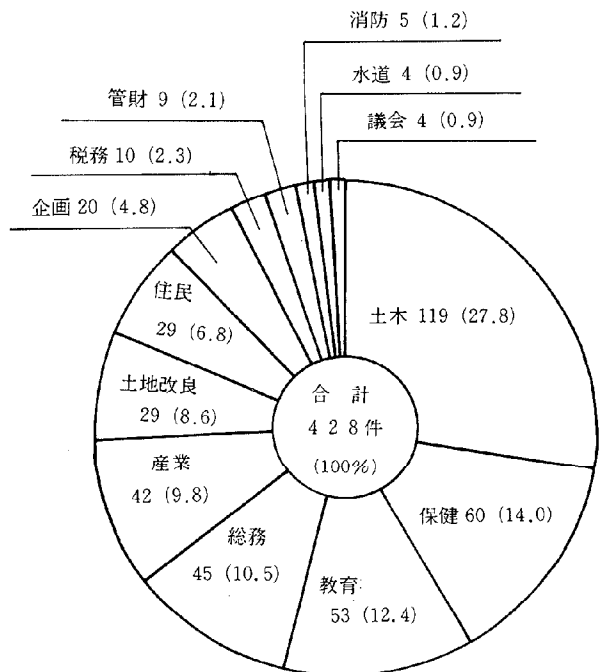
また、昭和55年度もなかばを過ぎたところですが、54年度のまとめと合わせて主な要望、苦情などの件数と、意見の内容を紹介します。

合のグラフを見ていただくと、概ねの傾向はわかりませんが、直接生活に関連する、生活環境の整備（道路、河川など）や保健衛生環境の整備（医療誘致、ゴミ・し尿処理など）の意見が最

項目別意見割合



所管別意見割合



も多くなっています。次に多い分野は教育関係であります。もちろん、前年は国際児童年ということもあつて多いということもありますが、懸案の南部グラウンド、南部中学関係にも関心があるようです。

以下交通安全関係、農業関係、土地改良関係と続きます。

400を越える意見の中には町として即対応しなければならぬ問題も多くありますが、住民の方々の理解、協力があれば済む要望もあり、苦情はすべて度については、皆さんも考えてみてはいかがでしょうか。

貴重な声

—この一年の主な要望—

声のポスト

声 市街化地内の空地に雑草が生えて困っています。何とかしてください。

答 市街化地内の雑草の草刈りは、所有者に文書で依頼をしているのが現状ですが、現地を調査して、幸田町あき地環境保全に関する条例に基づき早急に処理するよう指導しています。

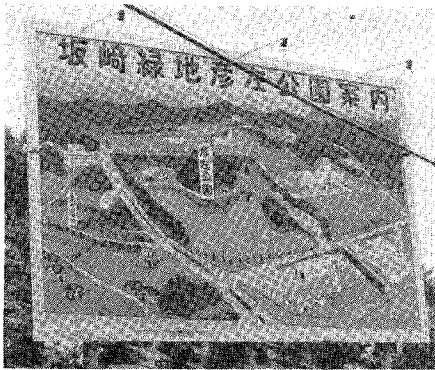
(担当 保健課)

声 中央グラウンドに時計がないので、熱中すると時間がわからず不便利です。設置してください。

答 毎年、農協の共済より時計の寄附があり、本年は十一月頃の子定希望しております。しかし、万一の場合は、町費でも設置しますので、いましばらく現状でお願いします。

(担当 教育委員会)

声 家族で彦左公園に行つたとき、案内の看板が小さくて見落してしまいました。看板をもっと大きくしてください。また、つつぎの時期など催し物をしてはどうですか。



答 公園はみんなの憩い場です。ご指摘の様に、工業団地入口から三か所、大きく良く見え

るところに設置するよう早急に検討します。

なお、魅力ある公園づくりのために年一度は、家族づれで楽しめる催しものを計画するよう努力します。

(担当 産業課)

声 坂崎グラウンドのバレーコートはポールが立てにくいので改良してください。

答 直ちにバレーポール、テニス兼用の支柱を固定設置しますので、今後ともご利用をお願いいたします。

(担当 教育委員会)

声 保育園の給食の量が決められていて、体の小さい子にとつては多すぎます。無理に食べさせて体を悪くしては大変です。多い分は自宅に持ち帰るような配慮をお願いします。

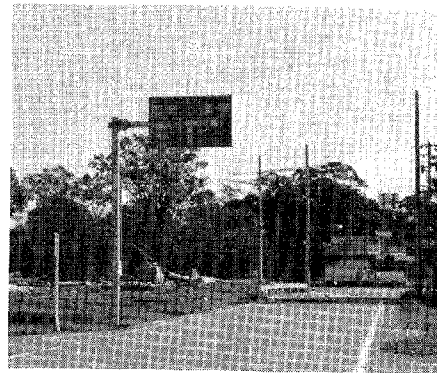
答 園児達の集団指導や、偏食の防止、栄養価の面で指導してまいりました。

しかし、集団指導、栄養価という点で無視はできませんが、その日の園児の健康状態等に応じて家庭に持帰りさせるよう指導をいたしました。

(担当 住民課)

町政モニター

声 道路の信号に、案内板を設置してほしい。



答 道理管理上どうしても安全施設(ガードレール、カーブミラ)が優先してしまいます。今後徐々に設置されていくよう努力しますが、早急に全部の設置は無理ですので、ご理解をお願いします。

声 蒲郡分校跡地にある温室のガラスが割れていて危険です。何とか取り除いてください。

答 勤労者体育センターの建設に伴ない、今年度中に取りこわします。

婦人会との懇談会

7/15

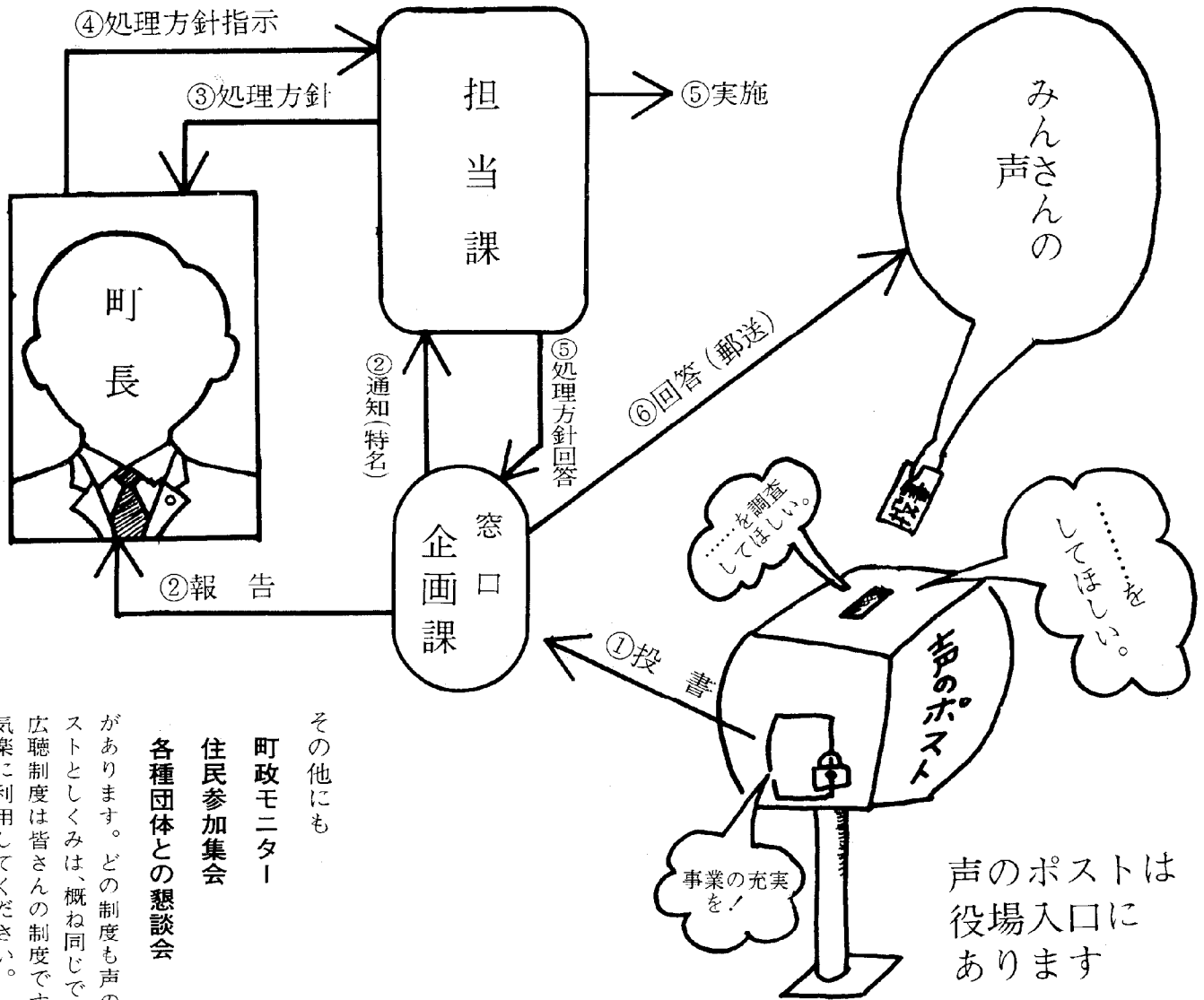
意見・要望

- ・ 婦人会活動費の増額助成をしてほしい。
- ・ 婦人指導員を設置し、指導の強化をお願いしたい。
- ・ 結婚式場を備えた、婦人会館を建設してほしい。
- ・ 地区の公民館に焼却炉を設置してほしい。
- ・ 医療センターの設置を望む。
- ・ 救急指定病院、休日医療のできる病院等
- ・ 通学路の危険箇所を整備
- ・ その他、町政全般について活発な意見が出されました。



広聴活動のしくみ

— みなさんの声が行政にとどくまで —



その他にも
町政モニター
住民参加集会
各種団体との懇談会
があります。どの制度も声のポストとしくみは、概ね同じです。広聴制度は皆さんの制度です。気楽に利用してください。

こんな事は昔の話



今では、そのような事はなく民主的に行われ、広く住民の方の意見が、公平に取り上げられるようになりました。

昔の広聴活動でよく知られているのが、江戸時代、町奉行大岡定相によって設置された、「目安箱」があります。その外、広聴といえるかわかりませんが「直訴」という方法がありました。もちろん、直訴した者は、打首になるかも知れませんが命掛けでした。

典には載っています。今の広聴活動でよく知られているのが、江戸時代、町奉行大岡定相によって設置された、「目安箱」があります。その外、広聴といえるかわかりませんが「直訴」という方法がありました。もちろん、直訴した者は、打首になるかも知れませんが命掛けでした。

広聴活動今昔

広聴とは「地方自治団体が地域住民の意見、要望、苦情などを聞き、行政運営の上にそれを反映させ、あわせて施策を住民に説明、説得し、その支持をえようとすること」と現代用語辞典には載っています。